

香港における県産農林水産物の さらなる輸出拡大に向けた取組みについて

香港事務所長 山奇 智幸

1. はじめに

農林水産省の発表¹によると、2018年の日本の農林水産物の輸出額は9,068億円（前年比12.4%増）で、このうち香港向けは2,115億円（前年比12.7%増）と輸出額全体の23.3%を占める最大の輸出先となっている。特に、いちご、ぶどう、うんしゅうみかん等は香港向けが輸出第1位となっており、他県との競合も激しい品目となっている。本レポートでは、農林水産物の輸出において成熟した香港市場での、当事務所の最近の取組みを通して、今後の課題と可能性について考えてみたい。

順位	17年	18年	国 地域名	2017年		2018年		
				輸出額	構成比%	輸出額	構成比%	前年比%
1	1	1	香港	1,877	23.3	2,115	23.3	12.7
3	2	2	中国	1,007	12.5	1,338	14.8	32.8
2	3	3	米国	1,115	13.8	1,176	13.0	5.5
4	4	4	台湾	838	10.4	903	10.0	7.8
5	5	5	韓国	597	7.4	635	7.0	6.4

（表1）農林水産物の国・地域別輸出実績（単位：億円）

2. 県産農林水産物輸出拡大に向けた取組み

（1）福岡県産品 PR 試食会

11月8日～9日の2日間、香港のミシュラン1つ星創作フレンチレストラン「arbor」で、現地著名シェフやフードブロガー向けに、福岡県産品 PR 試食会を開催した（写真1）。



（写真1）食材を説明するエリック総料理長
ティ総料理長が9月に県内の産地を訪れ、生産者と対話をしながら、品質の良さや美味しさを確認したアサリ、サザエ、川茸、みかん、八女茶等の食材を使用した（写真2）。また、デザートのマカロンに使用されたみそらぼ（飯塚市）の「林檎とシナモン味噌」は（写真3）、arborに加え、同じオーナーが経営する「DALLOYAU」の店舗においても採用が決定した。さらに、今回は福岡県の伝統工芸品である小石原焼の窯元を訪問し、シェフが自ら選んだ盃で県産酒の試飲を行うなど（写真4）、福岡の魅力を様々な切り口から紹介した。香港の日本総領事館からも、食単体ではなく、観光や伝統工芸など複数の要素を一体と



（写真2）県産サザエの料理



（写真3）県産味噌が使われたマカロン



（写真4）県産酒と小石原焼の盃

¹ 農林水産省「農林水産物輸出入概況 2018年（平成30年）」

して売込む取組みは、新しい取組みと紹介されるなど大変好評だった。

(2) 香港ロリータ協会とお茶会

当事務所では、日本に関心が高く、情報発信力もある 20～30 代の女性で構成される香港ロリータ協会とお茶会（交流会）を開催している（写真5）。今年1月には、香港で人気の洋菓子店と共同で、「あまおう」と八女の和紅茶などを使ったアフタヌーンティーセットを提供し、福岡の観光PRと合わせて県産食材を紹介した。「あまおう」は香港でも人気は高いが、近年、他県や韓国などとの競合が激しい。そのため経済的に余裕のある中高年層だけでなく、若者層にも県産品をPRするため、インフルエンサーでもあるロリータの皆さんに、SNSなどを通じて情報を発信してもらった。非常にユニークな取組みとして、お茶会の様子は、現地メディアでも大きく取り上げられるなど注目を集めている。



（写真5）お茶会の様子

3. 課題と今後の可能性

香港は日本にとって最大の輸出先である一方、世界中の農林水産物が並ぶ非常に競争が厳しい市場でもあるため、消費者を飽きさせない取組みが重要である。上述の arbor での福岡の食材PRの様に、世界各地から集まる香港の著名シェフとのコラボを通じて「新鮮な食材の宝庫、福岡」を香港から世界に発信することは、世界各地のシェフが福岡県産の食材を知る貴重な機会となっており、PR試食会に参加したシェフからは、「食材を探しに福岡へ行ってみよう」との声も多く聞かれた。また、今回のPR試食会では、県産味噌がマカロンに使われたり、食後のデザートに合わせて県産酒が出されるなど、県産食材の新たな可能性を発見することが出来た。

現在、平成筑豊鉄道の「ことこと列車」が香港や台湾でも注目を集めているが、車内で提供されているフレンチ料理を監修する福山剛シェフの「La Maison de la Nature Goh」は、アジアのベストレストラン50にも名を連ねる有名店である。今後は、福山剛シェフの様な、福岡の食材に精通する著名シェフとのコラボを通じた福岡の食材PRに加えて、「ことこと列車」等の観光資源や小石原焼や上野焼等の伝統工芸品をパッケージとして売り込むことで、福岡の魅力を更に高めていくことが重要と考える。若者層に対しては、香港ロリータ協会とのコラボの様に、若者に人気の文化や観光コンテンツと、「あまおう」や八女抹茶など福岡県産の食材を使ったスイーツ等をパッケージで売り込むことで付加価値を高め、他の産地との差別化を図っていきたい。香港、マカオや中国華南地域への農林水産物や食品の輸出に関心をお持ちの皆様には、ぜひ香港事務所へお問合せいただきたい。